

一般社団法人 National Clinical Database

2017 年度事業報告書

National Clinical Database（以下 **NCD**）は臨床現場の医療情報を体系的に把握し、医療の質の向上に資する分析を行う。その結果を以て一般市民に最善の医療を提供し、適正な医療水準を維持することを目的とする。本年度は、以下の社会事業を実施した。

（1）医療情報を集積したデータベースの維持管理及び提供について

- データ入力仕様の要望を各学会より受け付けその改訂を行い、収集データの改善を図った。
- ソフトウェア品質を確保しながら効率的な開発及び標準的な業務手順を検証し、文書化を進めた。
- 登録症例データを利用した集計・分析結果を確認できるフィードバック機能において、性能改善の充実に努めた。
- 追跡調査（フォローアップ）の補助機能を開発し、入力率向上に寄与した。
- **DPC**・レセプトデータを利用し、医療の質・効率性の評価・分析研究に着手した。

（2）データベースを活用した医療水準の評価及び臨床研究の支援について

- 日本泌尿器科学会の参画に伴い、症例登録システムの開発及びテスト運用を行った。
- 日本形成外科学会の参画に伴い、症例登録システムの開発及び運用を行った。また、日本形成外科学会が独自に運用していた旧データベースから、**NCD** データベースへ症例データをまとめて登録できるアップロード機能を構築し、臨床現場での症例登録の負担を軽減した。
- 日本病理学会において、剖検報データベースを運用し、過去データを **NCD** へ移管した。また、自施設データダウンロード機能を実装した。
- 日本再生医療学会において、再生医療等臨床研究データシステムの運用設計を行った。
- **NCD** データダウンロード（自施設データ利用）を試行し、自施設における医療品質の評価と改善に用いられた。
- 各領域の研究プロジェクト、学術調査、アニュアルレポートの作成を通じて臨床的検討に寄与した。
- 一部領域で、オーディット結果管理のシステム化を支援した。
- 外部システム（電カル等）から **NCD** 症例アップロード機能を搭載するための可能性を検証した。

（3）データベースの運用による関連団体との業務連携について

- 学会専門医制度等と連携した各種申請システムの維持管理及び開発を行った。
- 学術団体向けの **DB** 初期開発に関するガイドンス及び **Q&A** 事項を共有した。
- 医療機器等の製造販売後調査に伴い、症例登録システムの開発・運用の連携を行った。
- 各領域の学術総会等を通じ、関係各所での情報連携に努めた。

（4）法人の目的を達成するために必要な関連事業ならびに業務について

- 経理業務（**AMED** 案件を含む）、施設会費の問い合わせ業務、会員登録に伴う業務。
- **NCD** の業務から派生する知的財産の管理、情報セキュリティ対策、法・倫理的課題の解決。
- 「**NCD** セミナー 2017」を開催。開催後に発表内容の有料動画配信を整備した。

以上